

4) 調査結果

(1) 維管束植物

a) 確認種

影響範囲 50m 内で確認された貴重な維管束植物の一覧表を、表 6.3-17 に示した。

N-4.1 で確認された貴重な維管束植物は、無障害物帯伐採後の平成 23 年度では、夏季に 23 種、秋季と冬季に 20 種であった。平成 24 年度では、4 季調査において 21~22 種が確認されており、確認種類数に大きな変動は確認されていない。

表 6.3-17 影響範囲 50m 内で確認された貴重な維管束植物 (N-4.1)

No.	科名	種名 ^{注1)}	学名	工事前	平成23年度				平成24年度				貴重種 ^{注2)}		
				平成22年度	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	環境省 RDB	環境省 RL	沖縄県 RDB	
1					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	NT	
2				○	●	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	
3					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	NT	
4					●	●	●	●	●	●	●	●	EN	CR	CR
5					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	
6					●	●	●	●	●	●	●	●	CR	CR	EN
7					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	
8				○	●	●	●	●	●	●	●	●	CR	EN	VU
9				○	●	●	●	●	●	●	●	●	EN	VU	VU
10					●	●	●	●	●	●	●	●			NT
11												●	NT	NT	NT
12					●										CR
13					●	●	●	●	●	●	●	●	CR	CR	EN
14					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	VU
15				○	●	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	VU
16				○	●	●	●	●	●	●	●	●	NT	NT	NT
17					●								NT	NT	VU
18													CR	CR	CR
19													EN	EN	VU
20				○	●	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	VU
21					●	●	●	●	●	●	●	●	CR	EN	VU
22					●	●	●	●	●	●	●	●	NT	NT	VU
23				○	●	●	●	●	●	●	●	●	EN	VU	EN
24				○	●	●	●	●	●	●	●	●	EN	VU	EN
25					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	EN	VU
26													NT	NT	
27					●	●	●	●	●	●	●	●	VU	NT	VU
28				○									VU	VU	VU
29				○									VU	VU	VU
合計	11科		29種	10	23	20	20	22	21	22	22	27	27	27	22

注 1) 括弧内は別名

注 2) 貴重種のカテゴリーは以下のとおりである。

環境省 RL: 「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト (植物 I) 維管束植物」(2012 年 環境省編)

環境省 RDB: 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物- レッドデータブック- 植物 I」(2000 年 環境庁編)

EX: 絶滅: 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

EW: 野生絶滅: 飼育・栽培下でのみ存続している種

CR+EN: 絶滅危惧 I 類: 絶滅の危機に瀕している種

CR: 絶滅危惧 IA 類: ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

EN: 絶滅危惧 IB 類: IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

VU: 絶滅危惧 II 類: 絶滅の危険が増大している種

NT: 準絶滅危惧: 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD: 情報不足: 評価するだけの情報が不足している種

LP: 絶滅のおそれのある地域個体群: 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

沖縄県 RDB: 「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(菌類編・植物編)-レッドデータおきなわ-」(2006 沖縄県)

EX: 絶滅: 沖縄県ではすでに絶滅したと考えられる種

EW: 野生絶滅: 沖縄県では飼育・栽培下でのみ存続している種

CR+EN: 絶滅危惧 I 類: 沖縄県では絶滅の危機に瀕している種

CR: 絶滅危惧 IA 類: 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN: 絶滅危惧 IB 類: 沖縄県では I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU: 絶滅危惧 II 類: 沖縄県では絶滅の危機が増大している種

NT: 準絶滅危惧: 沖縄県では存続基盤が脆弱な種

DD: 情報不足: 沖縄県では評価するだけの情報が不足している種

LP: 絶滅のおそれのある地域個体群: 沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの

注 3) は 、 は とした場合の貴重種のカテゴリーを示した

b) 生育確認場所

影響範囲 50m 内における、工事前調査で確認された貴重な維管束植物の位置図対象表を表 6.3-18、位置図を図 6.3-41 に示した。

無障害物帯伐採後の平成 23 年度～平成 24 年度の貴重な維管束植物の確認位置図は図 6.3-42～図 6.3-48 で示した。また、現地で確認した種の写真を図 6.3-49～図 6.3-50 に示した。

表 6.3-18 貴重な維管束植物位置図対応表（工事前）

地点番号※1	科名	種名※2	学名	備考
K001				
K002				
K003				
K004				
K005				
K006				
K007				
K008				
K009				
K010				
K011				
K012				
K013				
K014				
K015				
K016				
K017				
K018				
K019				
K020				
K021				
K022				
K023				
K024				
K025				
K026				
K027				流下経路T003と同一
K028				流下経路TR001と同一
K029				
K030				
K031				流下経路T001と同一
K032				流下経路T002と同一
K033				
K034				流下経路T004と同一
K035				
K036				
K037				

※1: 地点番号とは、貴重種位置図の調査地点番号に対応する番号である。
 ※2: 括弧内は別名

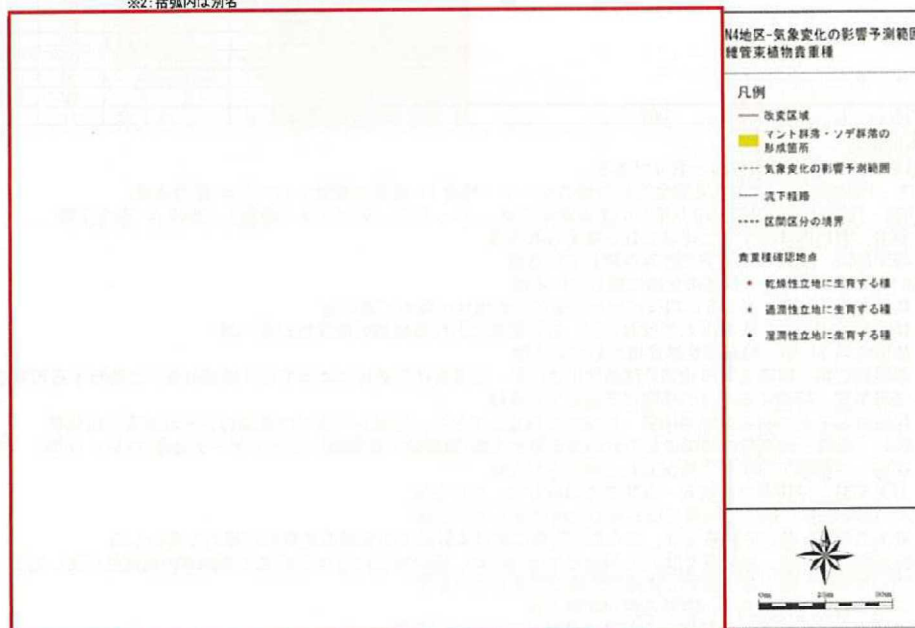


図 6.3-41 影響範囲 50m内を確認した貴重な維管束植物（工事前）

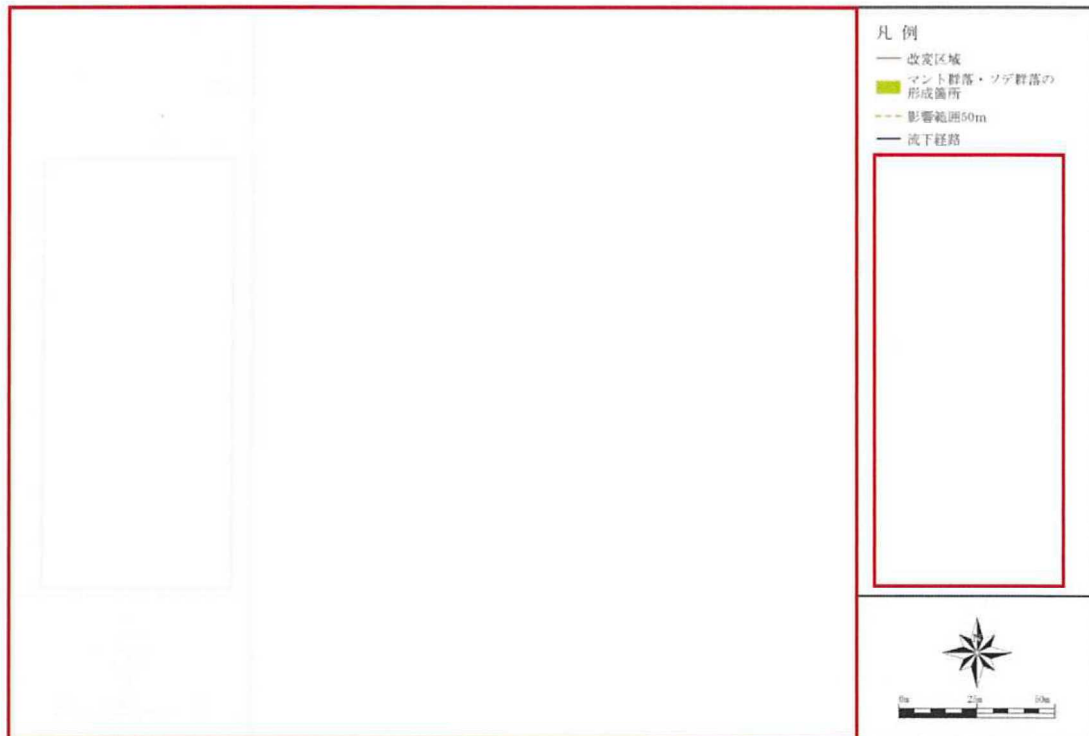


図 6.3-42 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物（平成 23 年度:夏季）

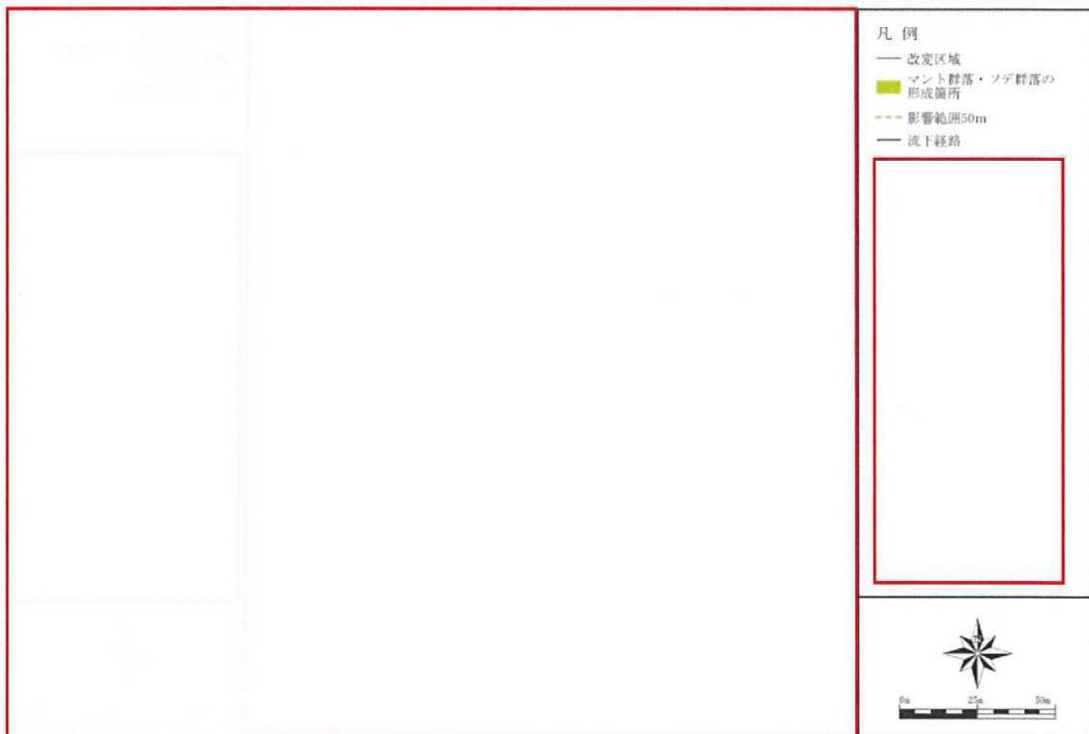


図 6.3-43 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物（平成 23 年度:秋季）

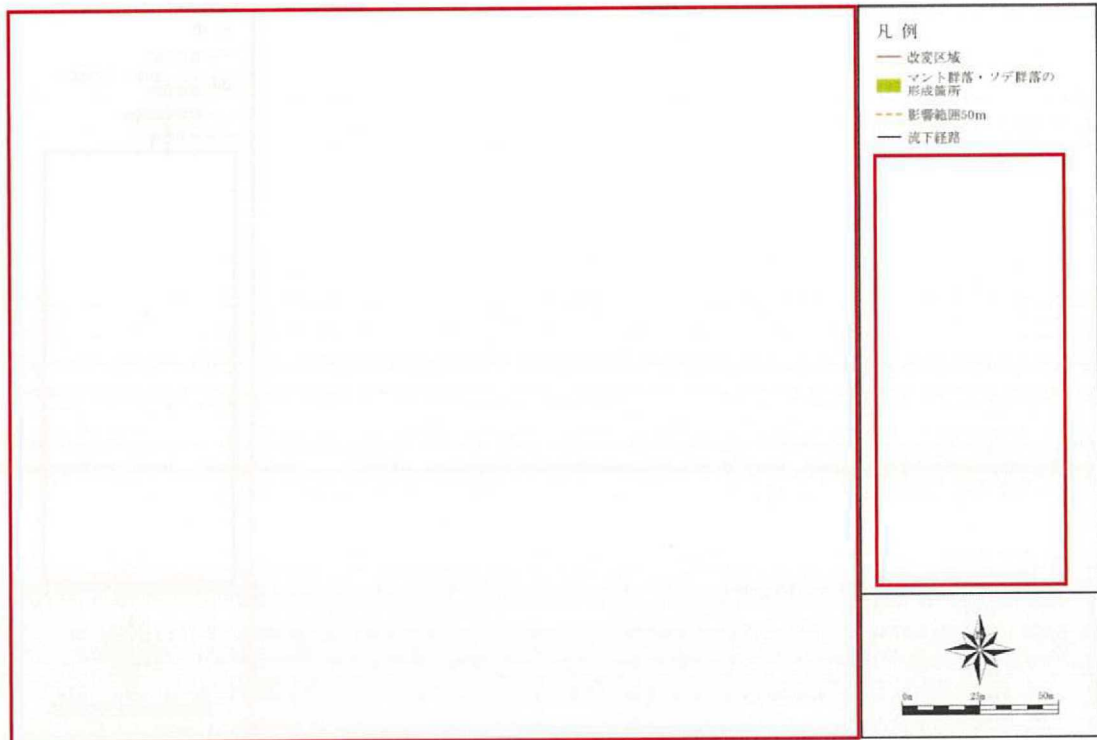


図 6.3-44 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物（平成 23 年度：冬季）

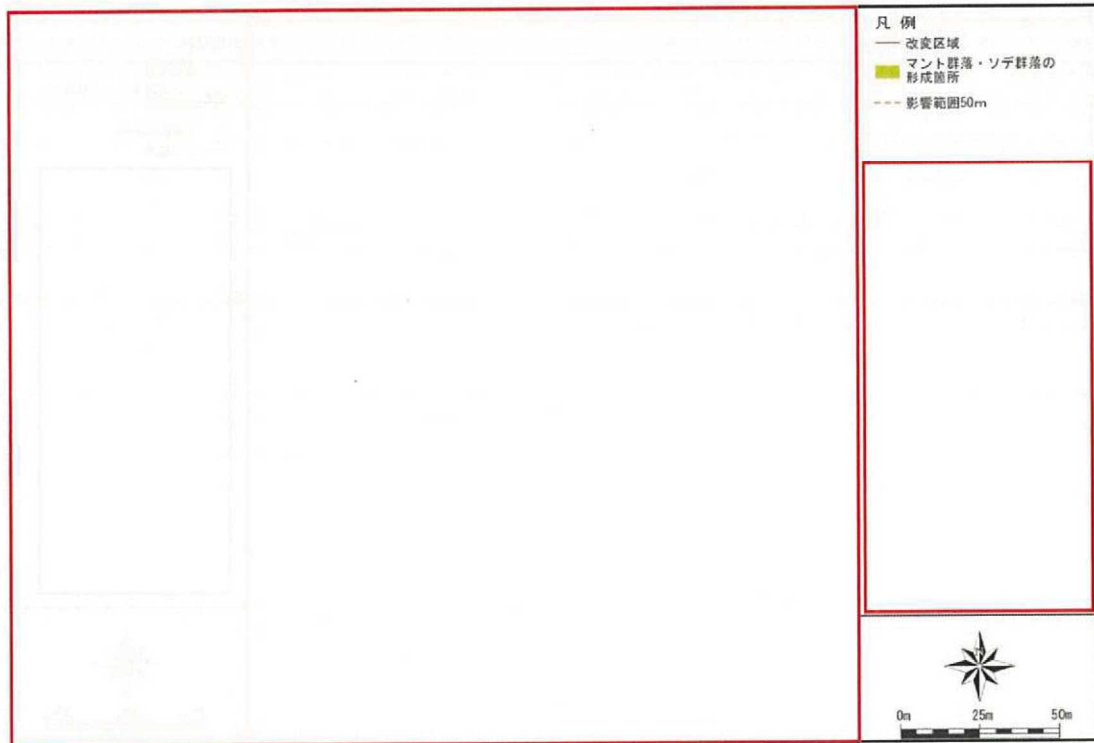


図 6.3-45 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物（平成 24 年度：春季）

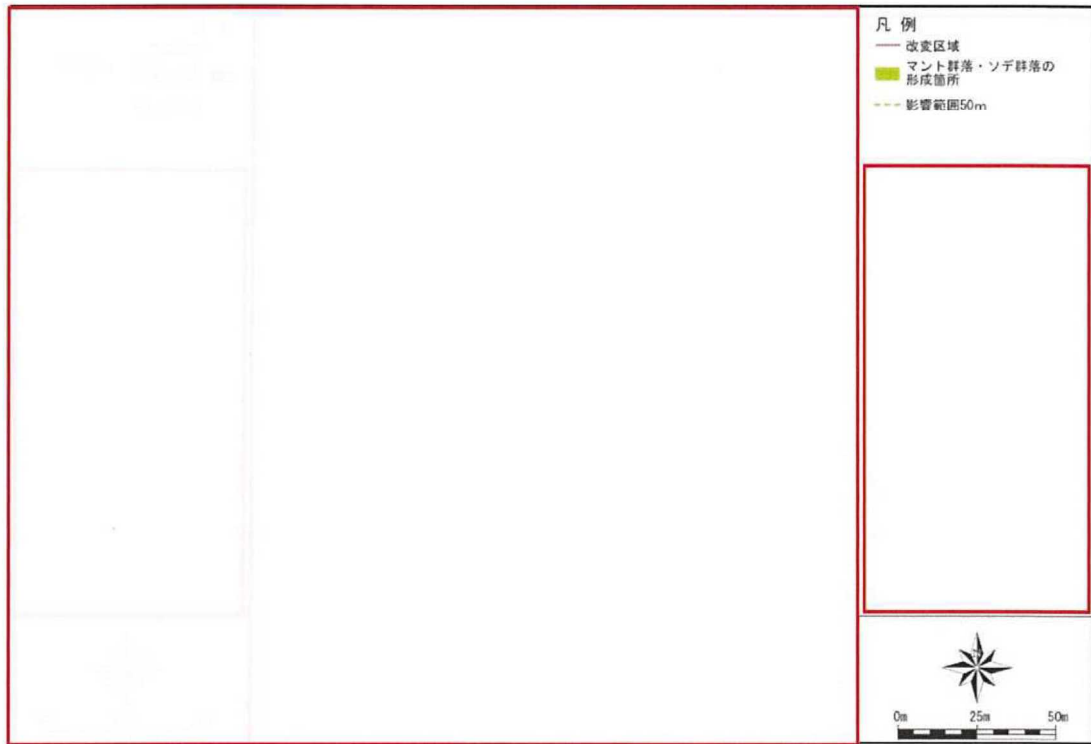


図 6.3-46 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物 (平成 24 年度:夏季)

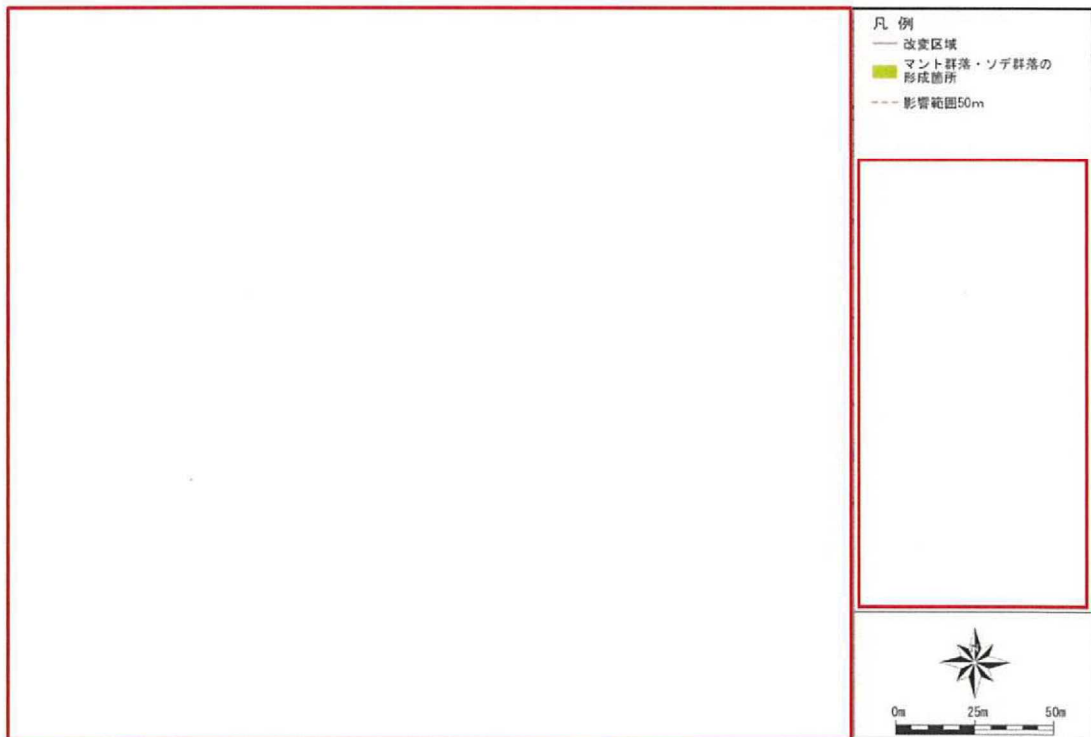
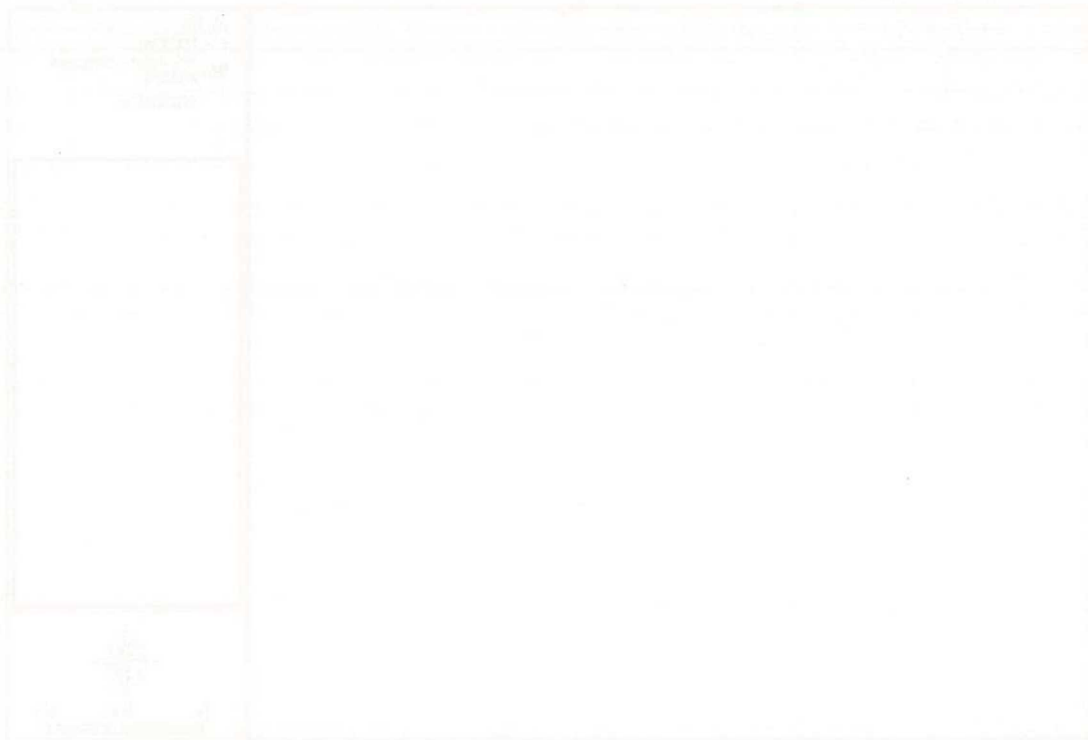


図 6.3-47 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物 (平成 24 年度:秋季)



図 6.3-48 影響範囲 50m内で確認した貴重な維管束植物（平成 24 年度：冬季）



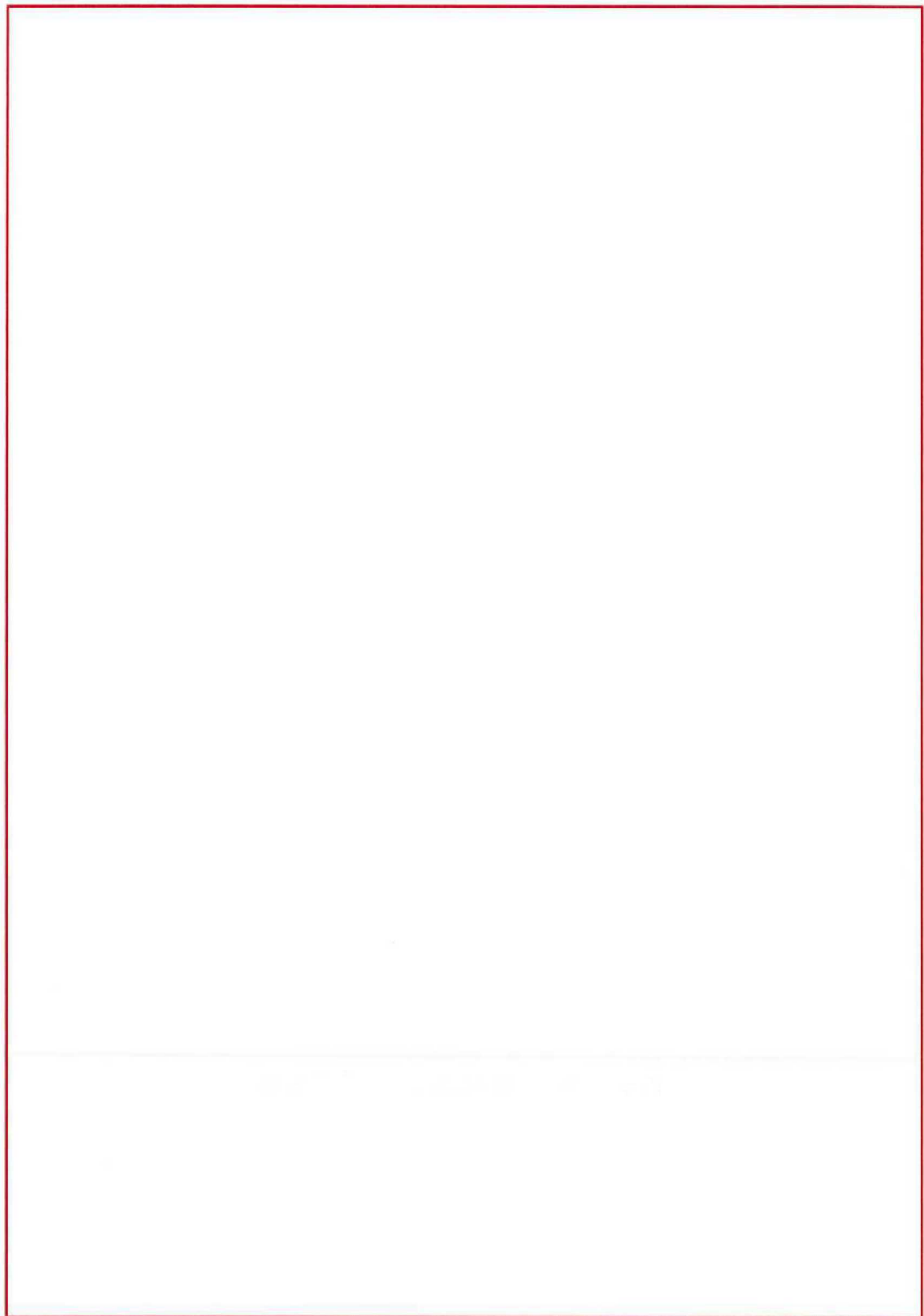


図 6.3-49 確認された貴重な植物(1/2)

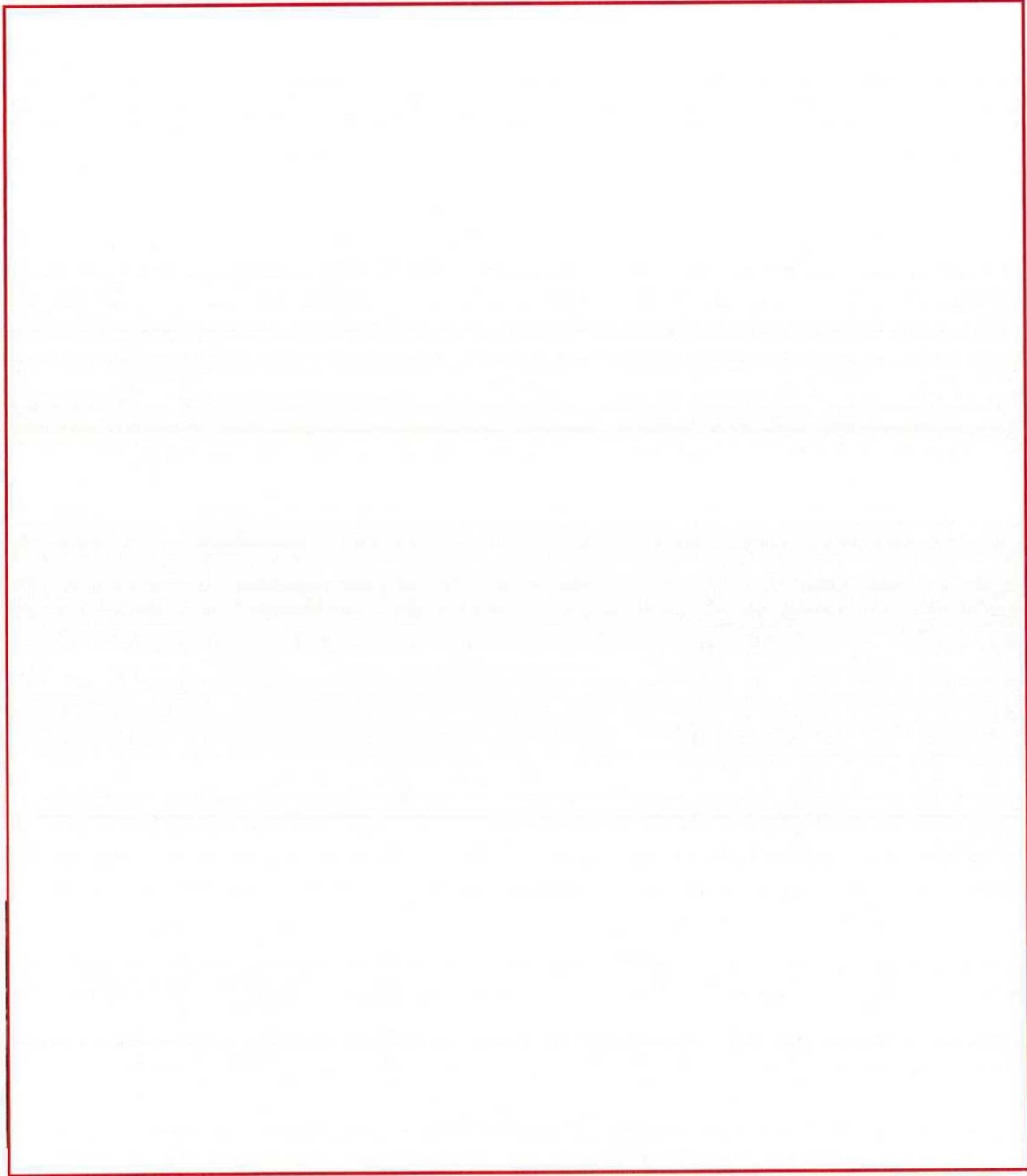


図 6.3-50 確認された貴重な植物(2/2)

(2) 蘚苔類

a) 確認種

影響範囲 50m 内で確認された貴重な蘚苔類の一覧表を、表 6.3-19 に示した。また、確認した蘚苔類の写真を図 6.3-51 に示した。

N-4.1 で確認された貴重な蘚苔類は、工事前調査(平成 22 年度)で 3 科 3 種が確認されている。平成 23~24 年度では 4 科 4 種が確認されており、確認状況に大きな変化は確認されなかった。

表 6.3-19 影響範囲 50m 内で確認された貴重な蘚苔類

No.	科名	種名	工事前	平成23年度			平成24年度				貴重種 ^{注)}		
			平成22年度	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	環境省 RDB	環境省 RL	沖縄県 RDB
1			○	○	○	○	○	○	○	○	DD		CR+EN
2			○	○	○	○	○	○	○	○	CR+EN	NT	VU
3			○	○	○	○	○	○	○	○	CR+EN	NT	
4			○	○	○	○	○	○	○	○			VU
合計	4科	4種	3	4	4	4	4	4	4	4	3	2	3

注) 貴重種のカテゴリは以下のとおりである。

- 環境省 RL: 「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(植物Ⅱ) 蘚苔類」(2012年 環境省編)
- 環境省 RDB: 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-; レッドデータブック- 植物Ⅱ」(2000年 環境庁編)
- EX: 絶滅: 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
- EW: 野生絶滅: 飼育・栽培下でのみ存続している種
- CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類: 絶滅の危機に瀕している種
- CR: 絶滅危惧ⅠA類: ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- EN: 絶滅危惧ⅠB類: ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- VU: 絶滅危惧Ⅱ類: 絶滅の危険が増大している種
- NT: 準絶滅危惧: 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- DD: 情報不足: 評価するだけの情報が不足している種
- LP: 絶滅のおそれのある地域個体群: 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
- 沖縄県 RDB: 「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(園類編・植物編)-レッドデータおきなわ-」(2006 沖縄県)
- EX: 絶滅: 沖縄県ではすでに絶滅したと考えられる種
- EW: 野生絶滅: 沖縄県では飼育・栽培下でのみ存続している種
- CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類: 沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- CR: 絶滅危惧ⅠA類: 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- EN: 絶滅危惧ⅠB類: 沖縄県ではⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- VU: 絶滅危惧Ⅱ類: 沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- NT: 準絶滅危惧: 沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- DD: 情報不足: 沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- LP: 絶滅のおそれのある地域個体群: 沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの



図 6.3-51 確認された貴重な蘚苔類

b) 確認場所

影響範囲 50m 内で確認された貴重な蘚苔類は、工事前の生育確認位置図を図 6.3-52 に示した。また、平成 23 年度の確認位置図を図 6.3-52～図 6.3-55 に、平成 24 年度の確認位置図を図 6.3-56～図 6.3-59 に示した。

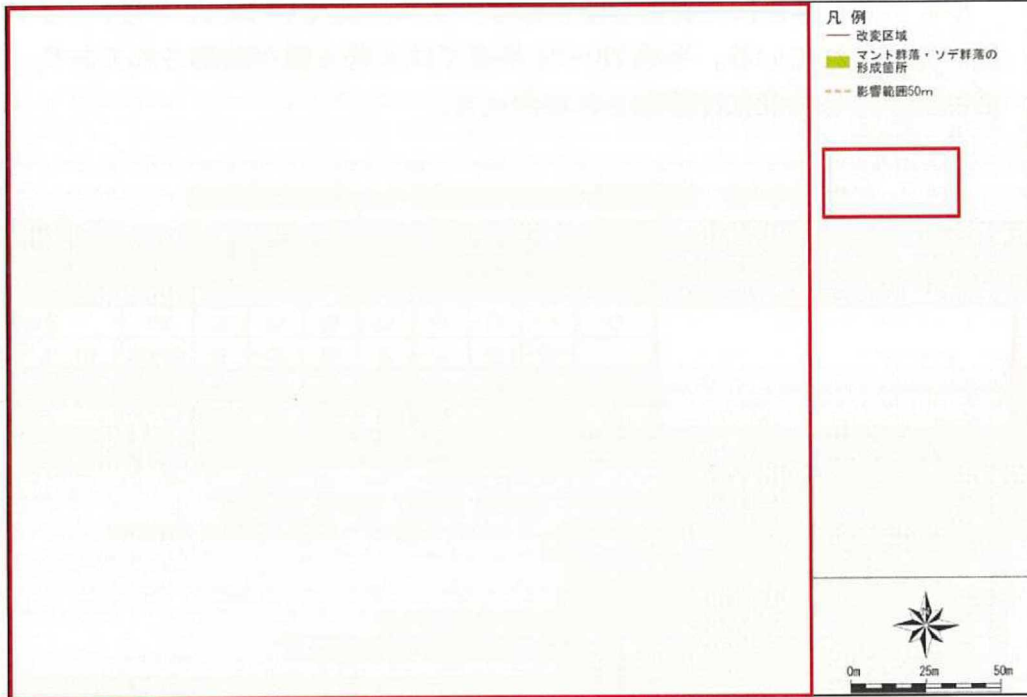


図 6.3-52 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類（工事前）

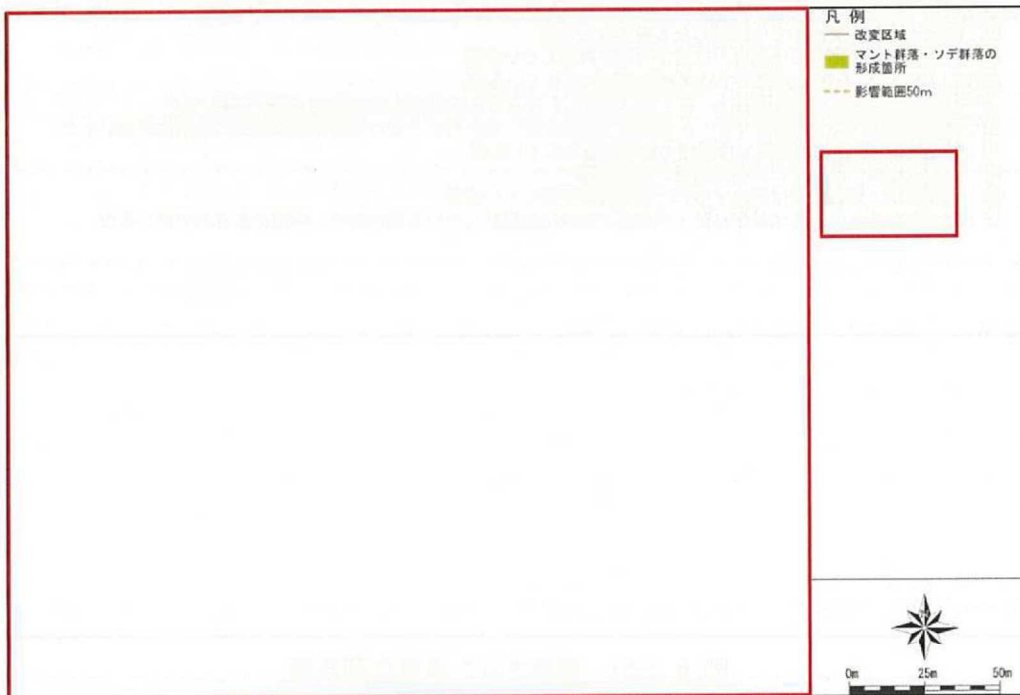


図 6.3-53 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類（平成 23 年度:夏季）

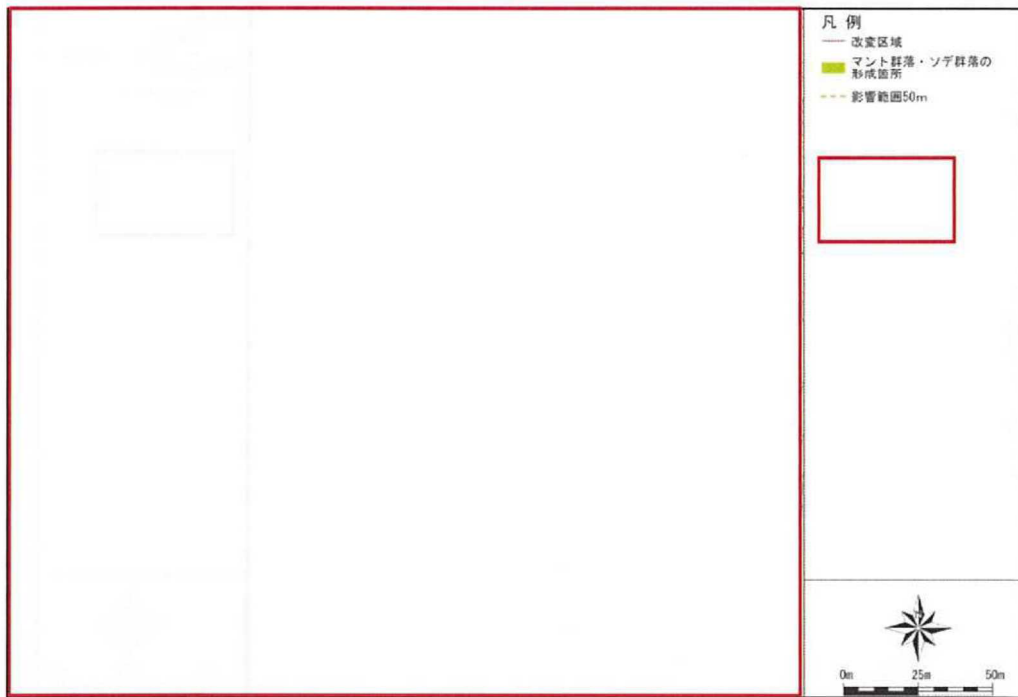


図 6.3-54 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類 (平成 23 年度: 秋季)

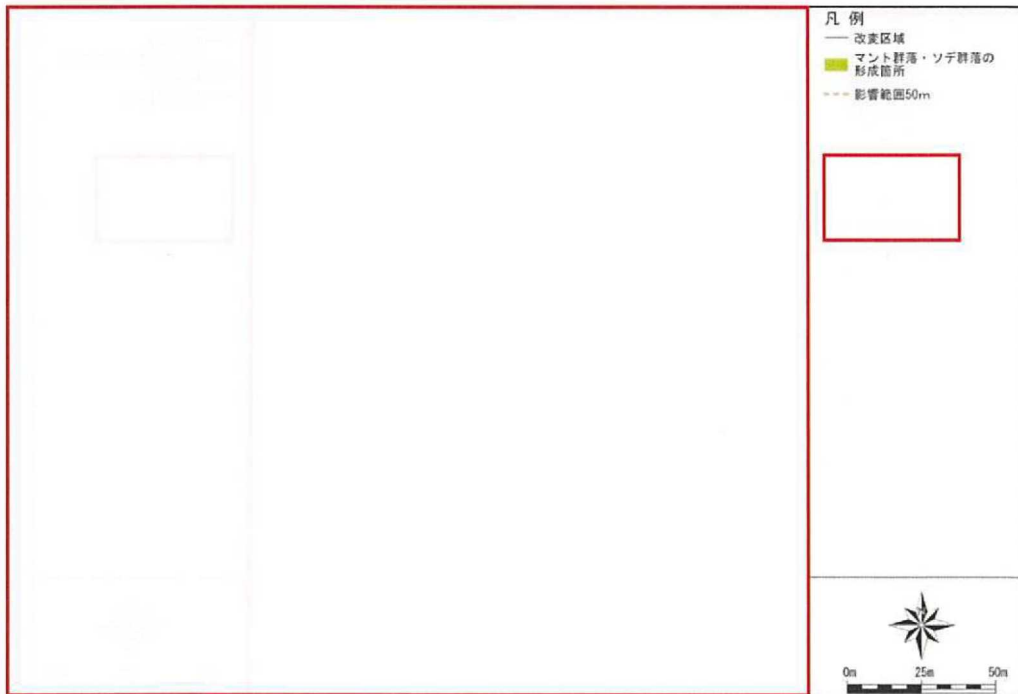


図 6.3-55 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類 (平成 23 年度: 冬季)

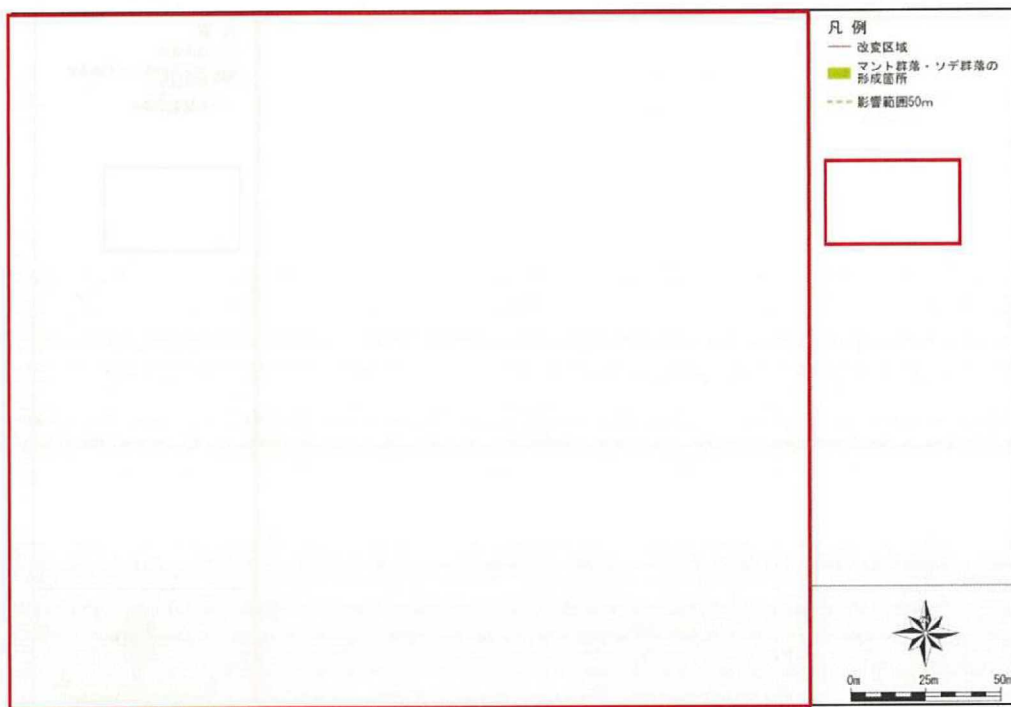


図 6.3-56 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類（平成 24 年度：春季）

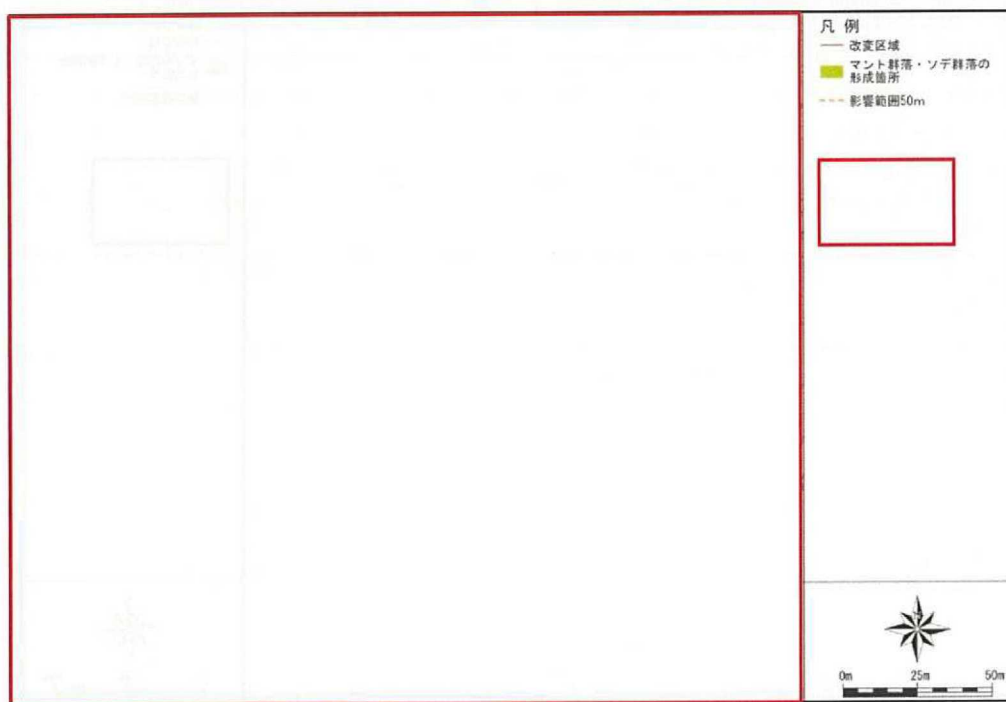


図 6.3-57 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類（平成 24 年度：夏季）



図 6.3-58 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類（平成 24 年度：秋季）

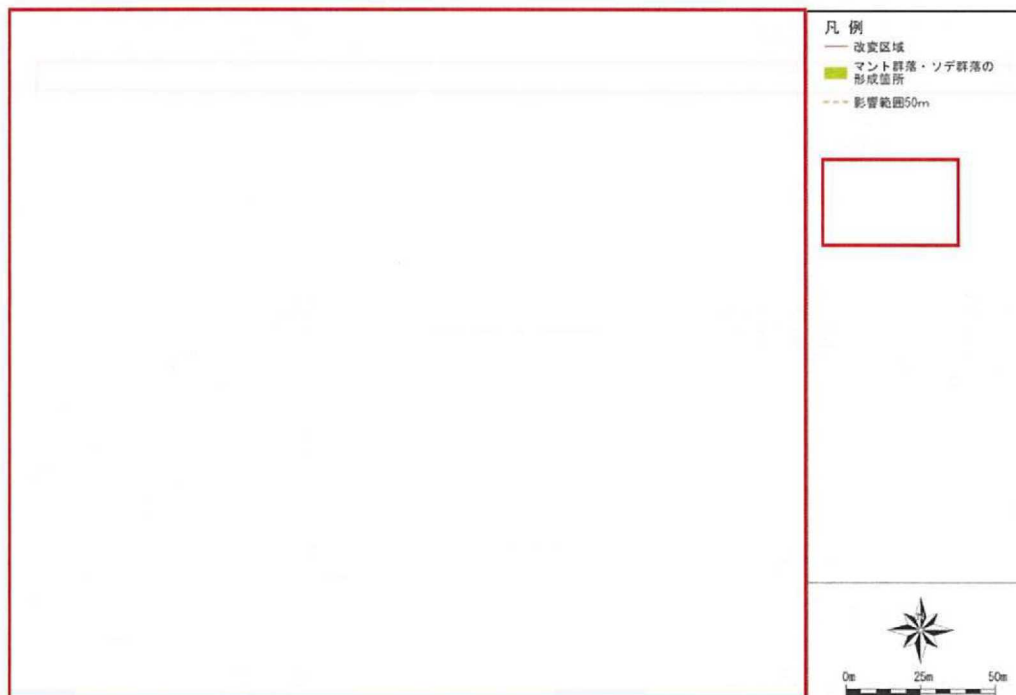


図 6.3-59 影響範囲 50m内で確認した貴重な蘚苔類（平成 24 年度：冬季）